



高知県おもてなしアクションプランの改定 【国際観光受入態勢の強化】に向けて

2015.2.26 高知県観光振興部

1.訪日外客数と外国人延べ宿泊者数の推移

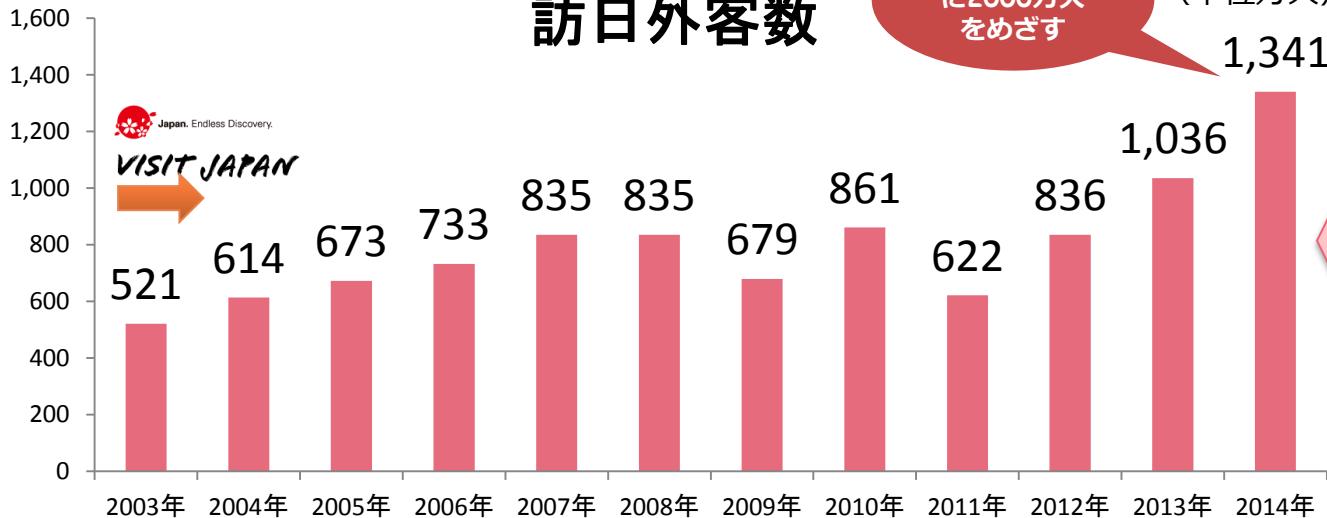
(JNTO／訪日外客数年間推計値)



訪日外客数

2020年まで
に2000万人
をめざす

(単位万人)



2013年の時点で日本は
世界で27位、アジアで
8位 (UNWTO調査)

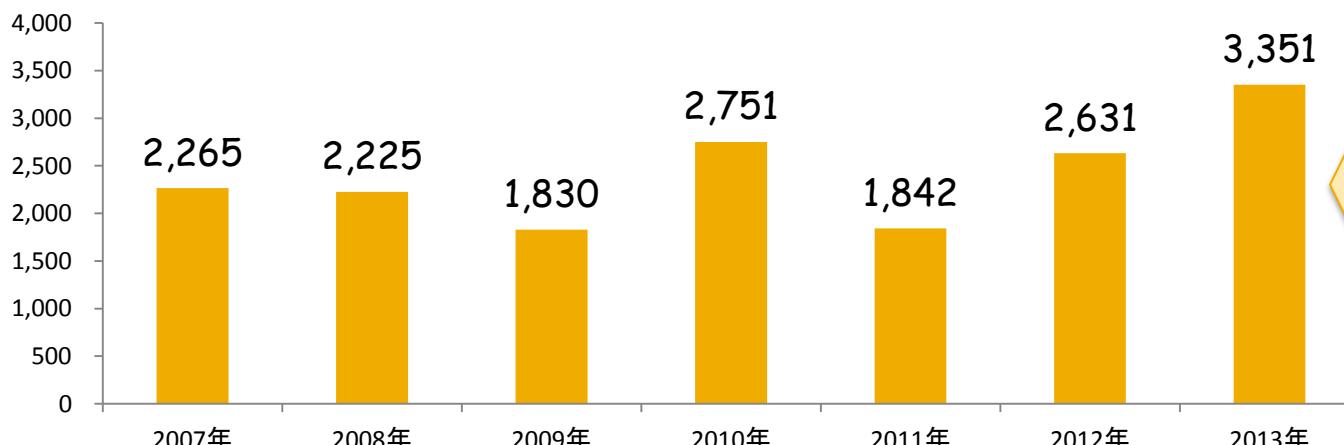
- 英国3100万人
- 香港2500万人超
- シンガポール、韓国にも負けている

日本のツーリズム産業
付加価値効果23.6兆円
(2013日本旅行業協会調査)

(観光庁／宿泊旅行統計調査確定値・従業員10人未満の施設含む)

延べ宿泊者数

(単位:万人泊)



1位	東京都	983万人泊
2位	大阪府	431万人泊
3位	北海道	307万人泊
4位	京都府	263万人泊
5位	千葉県	205万人泊
.	.	.
32位	香川県	9.6万人泊
.	.	.
35位	愛媛県	6.7万人泊
.	.	.
44位	徳島県	3.2万人泊
45位	福井県	3.0万人泊
46位	高知県	2.5万人泊
47位	島根県	1.9万人泊

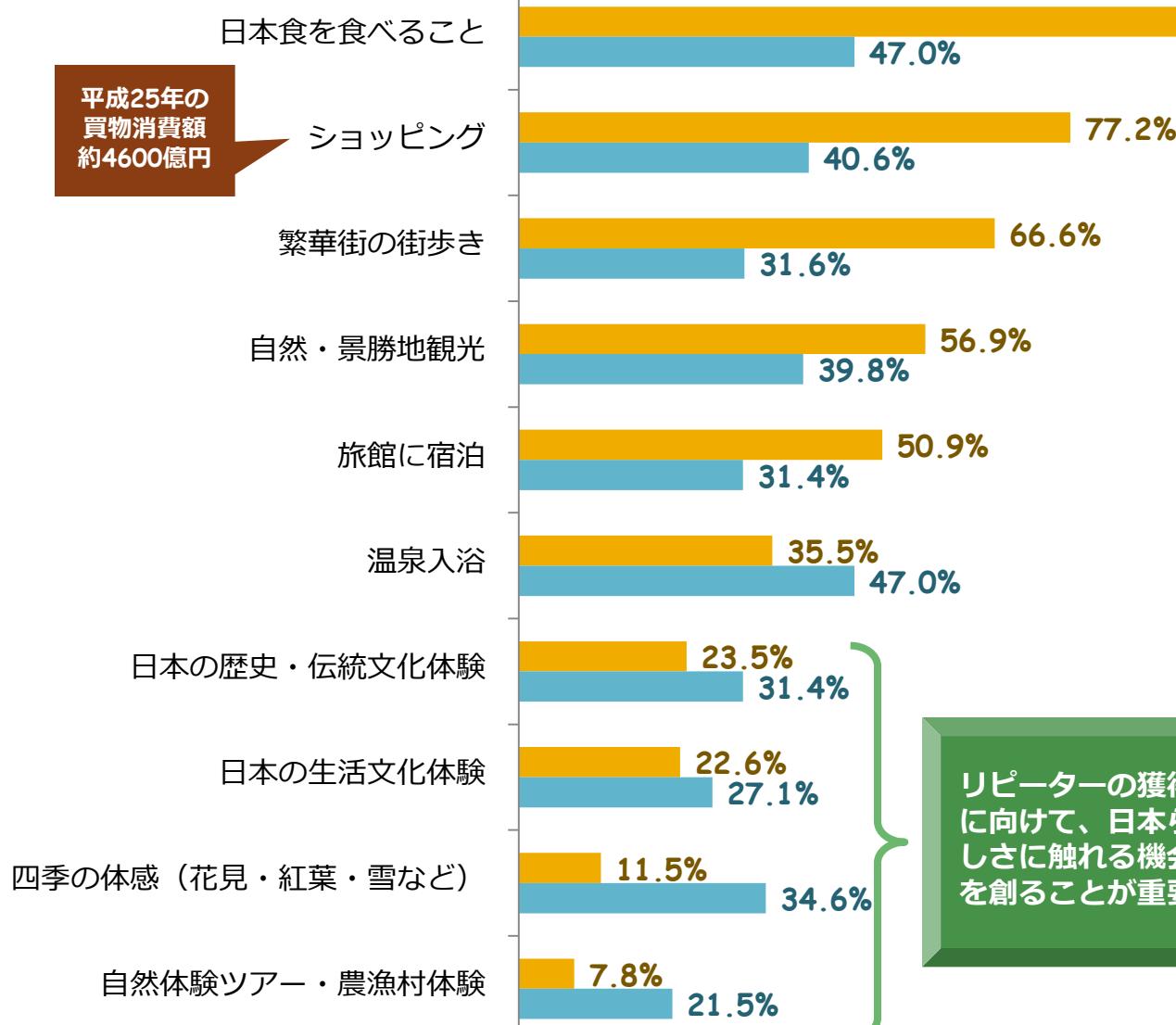
2.訪日外国人が体験した活動、次回体験したい活動

(観光庁／訪日外国人消費動向調査2013)

平成25年の
買物消費額
約4600億円

■ 今回実施したこと

■ 次回したいこと



リピーターの獲得
に向けて、日本ら
しさに触れる機会
を創ることが重要

高知県の認知度は圧倒的に低く
海外向けプロモーションが必要

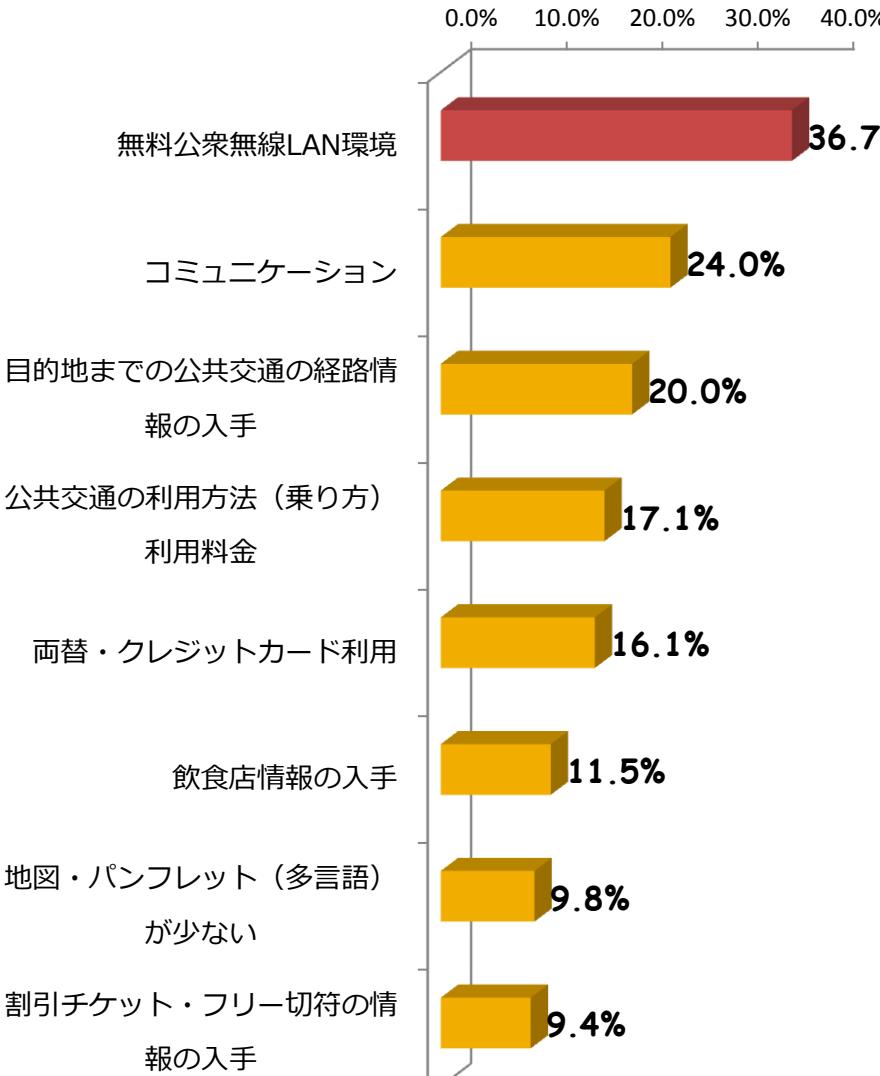
約29万回再生



(YouTube/SONY 4K CAMERA α7s PV)

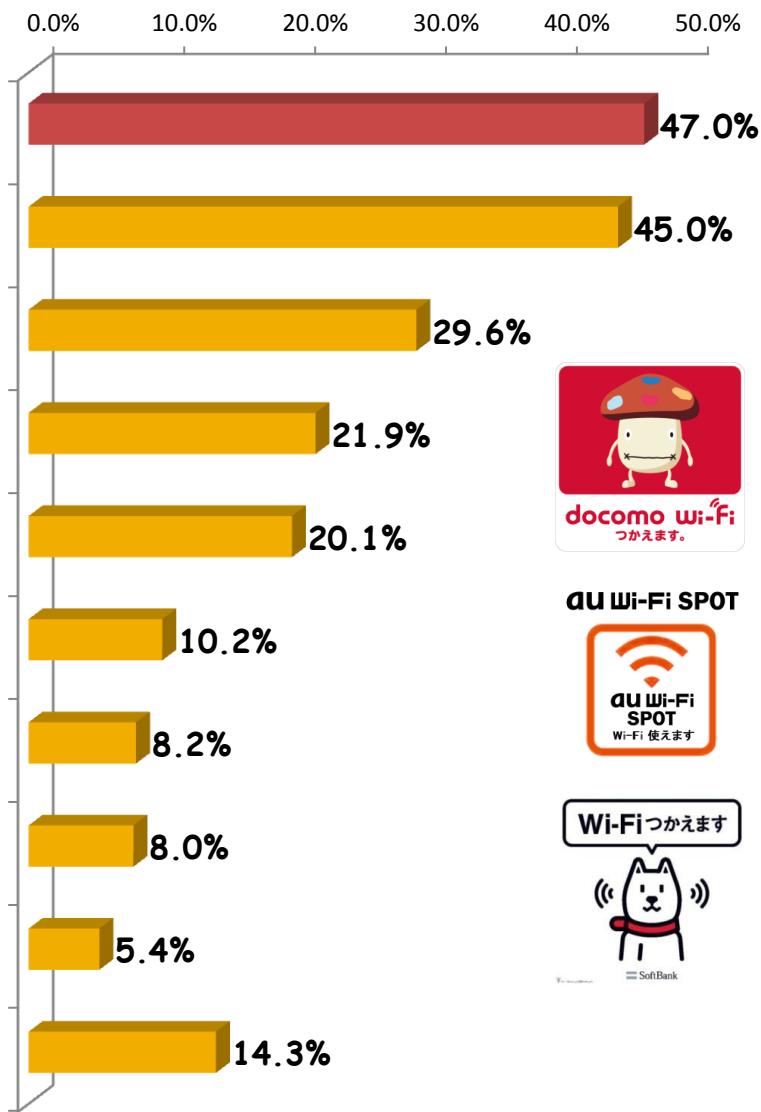
3.訪日外国人が困ったこと、日本滞在中にあると便利な情報

旅行中外国人が困ったこと



(観光庁／2011年11月調査)

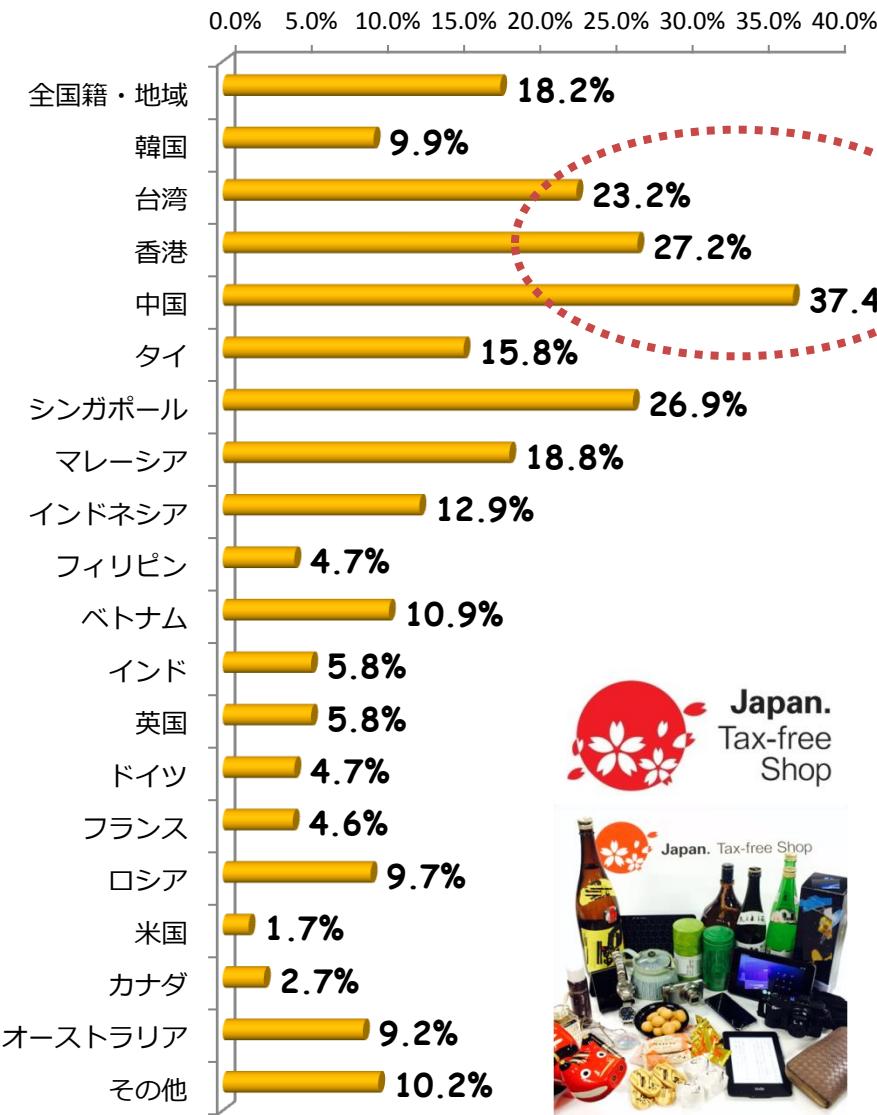
日本滞在中にあると便利な情報



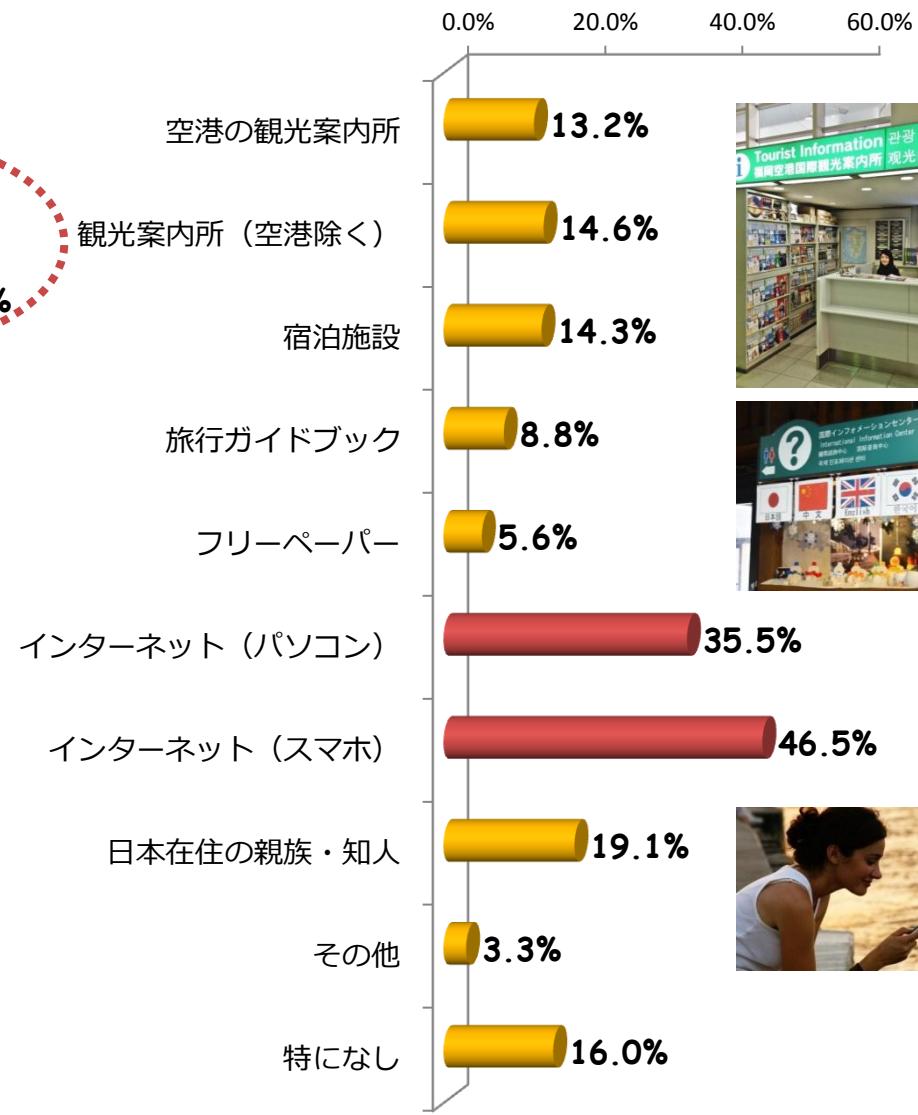
(観光庁／平成26年1-3月期訪日外国人の消費動向)

4.消費税免税制度の利用率、日本での旅行情報源

消費税免税制度の利用率



日本滞在中に得た旅行情報源で役に立ったもの



5.国際観光の推進 26年度の取組 及び 課題

目標／外国人のベ宿泊者数の増加

平成25年実績 2.1万人泊

平成27年目標 3.2万人泊

国別プロモーション戦略

26年度の取組

【県の取組】

○情報発信による認知度向上

- ・台湾でのWebサイト広報等による情報発信

○セールス活動

- ・航空会社や旅行会社、商談会等でのセールス

○交流の仕組みづくり

- ・よさこいを通じた台湾等との交流
- ・室戸と他国のジオパークとの交流

○他部局と連携したL C C ・ クルーズ船誘致

○四国4県が連携したプロモーション

- ・V J 事業による周遊ルート、旅行博等への出展
- ・海外メディア等の招聘ツアー

【観光コンベンション協会】

○旅行商品造成の働きかけと観光商品紹介

○民間と連携した商談会の開催

○インセンティブ制度の実施

○周遊ルートづくり

台湾・香港
大幅増

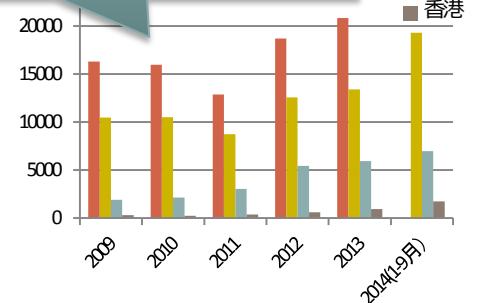
外国人延べ宿泊者数

2014年1~9月 44%増

全体 : 13400人泊→19310人泊

台湾 3820人泊→6990人泊

香港 600人泊→1740人泊



課題

1.多言語による海外への魅力的な観光資源の情報発信

- ・国や顧客層、旅行形態にマッチした情報発信コンテンツが圧倒的に不足。
- ・他県と差別化できる本県の自然・食・体験型観光の魅力が海外に十分発信されているとは言い難い。

2.継続したセールス活動

- ・県・C V 職員が現地に出向くセールス活動のみでは頻度に限界がある。

オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客を誘客するために

増加するFIT観光客へWebでの情報提供が必要

国別	旅行形態 団体:個人	主な 情報収集源
台湾	5:5	Web/旅行誌
香港	3:7	Web/旅行誌
韓国	3:7	Web
中国	7:3	Web
シンガポール	2:8	Web
タイ	4:6	Web
マレーシア	5:5	Web
米国	1:9	Web
豪州	1:9	Web

高知家流おもてなしプロジェクト

26年度の取組

つくる

○外国人観光客のニーズにあった商品の発と造り込み

- ・外国人受入れ可能施設調査と基本モデルルートの作成
- ・外国人留学生による地域住民との交流をメインとする体験型観光メニューの調査・発掘
- ・外国人によるグリーンツーリズムモニターツアー

売り込む

○ニーズのあるターゲット国とパートナーとなる海外旅行会社の開拓

- ・観光庁やJ N T O 海外事務所からの情報収集
- ・商談会や旅行博等での市場のニーズ把握・分析
- ・海外旅行会社や国内ランドオペレーターへのセールス活動
- ・クルーズ船社や富士通外国人社員等によるモニターツアー
- ・海外旅行会社を招聘してのモニターツアーの実施と実施後のアプローチ

- ・香港2社・台湾2社・シンガポール1社モニターツアー招聘を調整中(台湾1社実施済)
- ・来年4月のクルーズにオプショナルツアー9本提案

もてなす

○農業体験等、受入れ施設の仕組みづくり

- ・受入農家に関する情報収集と個別訪問
- ・JA等と連携した受入れ農家等の開拓

○おもてなし添乗員の育成と確保

- ・先進事例による座学研修とモニターツアー等での実地研修
- ・おもてなし添乗員候補の情報収集と確保

おもてなし添乗員6名確保
(C V除く)

民間と連携して推進するための
官民協働ワーキングの設置

課題

つくる

①外国人目線での観光資源のブラッシュアップと発掘

②顧客のニーズにきめ細かく対応できる商品の造成

売り込む

①高知家知名度向上のための効果的なプロモーション展開

②他社と差別化する商品を販売する旅行会社へのセールス活動の強化

もてなす

①農家等の安定した受入体制の仕組みづくり

②県内にノウハウを蓄積するための「おもてなし添乗員」の育成と確保

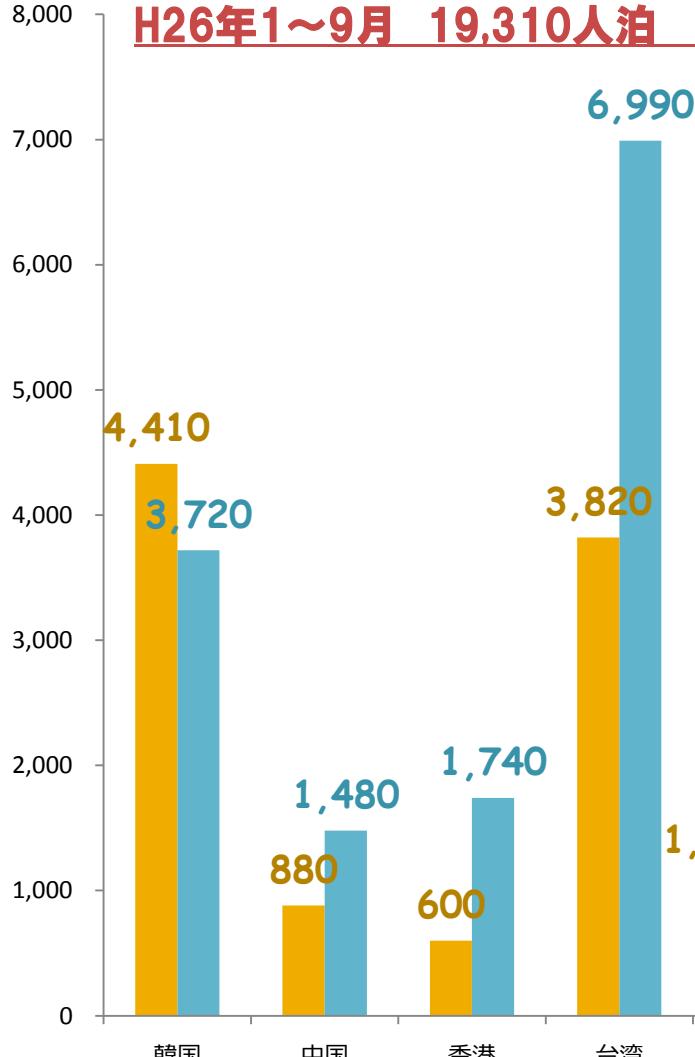
6.高知県の外国人延べ宿泊数の推移(平成25年1~9月、平成26年1~9月)

H24年1~9月 12,560人泊

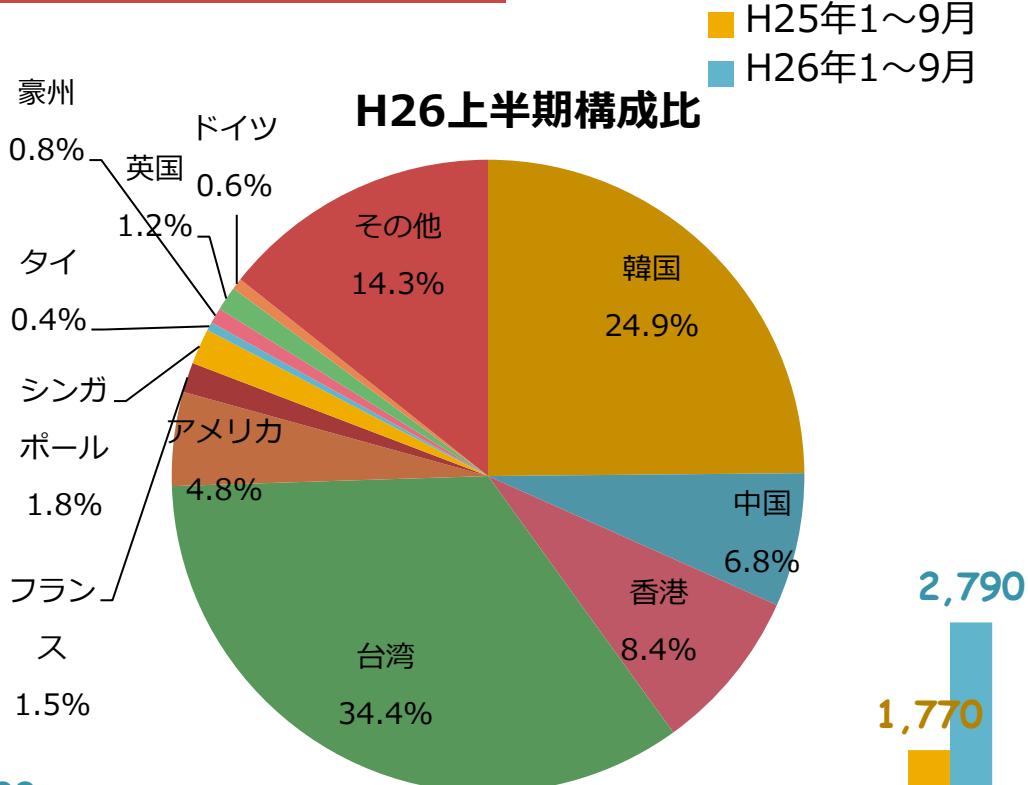
H25年1~9月 13,400人泊 (前年比 6.7%増 (全国伸び率 28.9%))

H26年1~9月 19,310人泊 (前年比 44.1%増 (全国伸び率 28.8%))

(単位人泊)



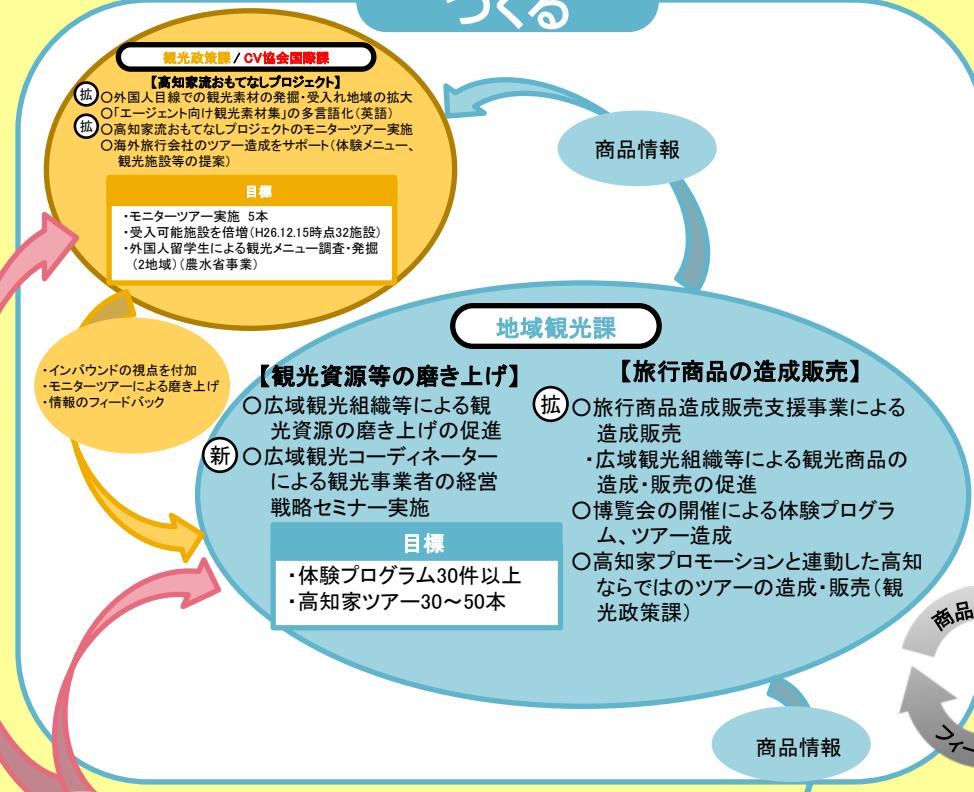
H26上半期構成比



7. 外国人の宿泊者数5万人泊への挑戦(案)

新 国際観光推進コーディネーター (2名配置)

つくる



売り込む

観光政策課 / CV協会誘致部及び国際課 【国別戦略】

- 継続したセールス活動(国内外での商談会・旅行博等への参加、個別セールス、**新 海外業務委託(台湾)=産業振興推進部と連携**)
- 四ツ一創等と連携した周遊ルートづくり(東部周遊、サイクリング、ゴルフ他)
- 海外旅行会社やメディア招聘の受入れ
- インセンティブ制度の実施
- 外国クルーズ客船への誘致活動(港湾振興課と連携)
- ターゲット市場別に4種のコンテンツを作成し、情報発信(WEBサイトやパンフレット、現地雑誌、動画などクロスマediaによる露出強化)

【高知家流おもてなしプロジェクト】

- 他社と差別化する商品を販売する旅行会社へのセールス活動の強化

目標

- ・商談会・旅行博の参加目標 15回以上
- ・高知家流おもてなしツアーアイデアの提出 18本(7社×2本、シンガポール3本、ロシア1本)
1,080人泊(20人×3泊×18本)
- ・クルーズ船オプショナルツアー 150人(30人×5本)

受入体制の情報を商品作りへ反映

おもてなし課 / CV協会受入部

- 【受入環境整備】**(高知県おもてなしアクションプランの改定
【国際観光受入態勢の強化】し推進)
- 国際観光受入態勢整備事業費補助金を創設し、市町村や組合団体等の受入環境整備を支援
 - 多言語の広域観光案内板を設置(年4基)
 - 外国人観光案内所の拡大
 - 外国人旅行者に対応するおもてなし研修の実施

目標

- H28年度末整備目標(2年間)
- ◆観光施設・道の駅
 - ・多言語観光案内板《14箇所》、Wi-Fi環境整備《62箇所》等

セールス情報へ反映

観光政策課 / CV協会国際課

- 【国別戦略】**
- WEBサイト・パンフレットによる着地観光の情報提供(4言語)
 - OLCC誘致(交通基盤の整備・交通運輸政策課と連携)

【高知家流おもてなしプロジェクト】

- おもてなし添乗員の育成と確保
- ツアーアイデアの提出
- ツアーアイデアの現地サポート(外国人観光客とのコミュニケーション支援)

目標

- ・おもてなし添乗員を10名確保

もてなす